

講義名	教職概論【教職科目】			授業形態	
担当教員	田邊 良祐	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

本授業では教員の仕事に関する、様々な制度と歴史、やりがいや仕事の実感、教職の抱える課題、日本と諸外国の教職との違い等について、様々な資料やテキストを基に理解する。そして、自信が教壇に立った時の姿を見通すことができるようになることを目指す。  
 具体的には、以下のような目標の達成を目指す。

**到達目標**

- 目標1 教職の職務について関係法規を示しながら説明することができる。
- 目標2 教職の実態について、様々な課題の原因を示しながら説明することができる。
- 目標3 日本と諸外国の教職の実態を理解し、比較した結果日本の教職の特徴を説明することができる。
- 目標4 教師職の構成と自身の教職の適性について判断することができる。

**提出課題**

予習課題（単語調べ）、ポートフォリオ、発表課題を提出する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

ポートフォリオは学生と教員で往還し、コメントを付して返却する。

**評価の基準**

- ・予習課題（単語調べ） 30%
  - ・ポートフォリオ 30%
  - ・発表資料 40%
- で評価する。

**履修にあたっての注意・助言他**

本授業は、最終的に各学生が「教職の現状を踏まえ、その課題を具体的に示しながらその課題解決の方法を提案する」という発表を行う。その発表を行うために必要な知識の獲得のため、様々な観点から「教職」について毎授業考察を行う。やむを得ず授業に欠席する場合、進捗が遅れないよう自分でフォローする努力をすること。なお、質問は随時受け付ける。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

その他
-----

**授業計画**

- 第1回：授業ガイダンス、「教職」の課題に関する内容の整理
- 第2回：教師の資格と責任・義務
- 第3回：教員養成の仕組み 戦前までの教員養成を中心に
- 第4回：教員養成の仕組み 戦後の教員養成の原則と教員養成改革
- 第5回：「教師像」と「教員に求められる資質能力」
- 第6回：教師の「専門性」と「専門職性」
- 第7回：カリキュラムの編成・教育課程の編成と教師
- 第8回：生徒指導・学級経営と教師
- 第9回：授業づくりと教師
- 第10回：特別なニーズを持つ生徒への対応
- 第11回：キャリア教育の実践に向けた学校組織と教師
- 第12回：教員の採用・研修の仕組み
- 第13回：教員の多忙と多忙感
- 第14回：教員の働き方改革
- 第15回：教職の課題と課題解決方法の提案

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

単語調べ等を含む予習に2時間程度  
 ポートフォリオの作成による復習、最終回の発表に向けた資料作成の準備等に2時間程度  
 授業外で時間を確保することを求める。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

商学部では共通して「マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」資質能力の育成を目指している。  
 高等学校教育科は「ビジネスで必要となる実践的な働く力を身に付ける」ことが目的である。そのような資質能力を生徒に育成する教員となるべく、「問題探索」「課題提案」を随時授業を通して行い、DPで示す資質能力の育成を目指す。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

授業では、資料をクラウドで配布したり、必要な情報を調べたりする。そのため、可能な限りスマートフォン、タブレット、ラップトップなどの端末を持参すること。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

本授業は、教員の免許状(高等学校1種免許・商業科)取得のための必修科目である。